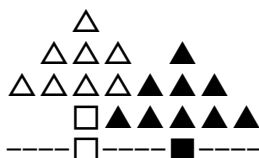


2016/12/28

林業試験場メールマガジン



『北の森の達人』

Vol. 48 第48号

読者の皆様へ

いつも林業試験場メールマガジン『北の森の達人』をお読みいただき、ありがとうございます。
今回のメールマガジンには、新年早々森づくりセミナーのご案内もあります。
十勝方面にお住まいで興味のある方は是非いらしてください。

「光珠内季報」の180号とグリーントピックス第53号を発行しました。
「光珠内季報」は、WEB版のみの発行となりましたので、当場のホームページ
(http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/about/kanko.htm) よりご覧いただきますようお願いいたします。

刊行物ダイジェスト・・・光珠内季報第180号（2016.12発行）

- 1 日高・胆振沿岸地域において2013年春に発生したクロマツ樹冠の赤変とその原因・・・ 1頁

日高・胆振地域の沿岸部において、2013年春に発生したクロマツ樹冠の赤変現象の分布状況を調査したところ、海に対して南西～南向きの地域で被害が甚大なことが分かった。2001年からの気象速報を検索して、各気象イベントにおける海風の最大風速を比較したところ、2013年12月初旬のイベントが樹冠赤変に大きく関わっていると推察された。各市町における海風の強さと被害の程度のあいだには有意な正の相関が認められたことから、今回のクロマツ樹冠の赤変現象は潮風害であることが示唆された。

- 2 クマゲラの生息を確認する方法・・・ 5頁

クマゲラの行動圏、生息地での発見率、採餌木・営巣木・ねぐら木による間接的な生息確認方法について紹介した。最後に森林施業との共存に関し、まずは間接的な生息確認方法などで日頃から生息情報を大まかに把握し、繁殖の可能性がある地域では、繁殖期に伐採を伴う施業を控えることで伐採の影響を最小限にできると提案した。

- 3 農業で働くミツバチ、そしてニセアカシアとのつながり—聞き取り調査からわかること—・・・ 9頁

ミツバチを受粉に用いている農協を対象に行った聞き取り調査をもとに、ハチミツを作る以外に、花粉媒介者（ポリネータ）としてのミツバチの役割に焦点をあて、ミツバチを介した農業—養蜂の連携およびニセアカシアの管理に対する農業サイドの認識について紹介した。

・・・グリーントピックス第53号（2016.10発行）

- 1 皆伐で天然更新したトドマツ稚幼樹の成長を促すことに成功

- 2 道南スギの供給可能性と今後の丸太径級を予測しました
- 3 「カラマツ将来木施業導入支援ツール」を使ってみよう！

////////////////////////////////////

■「道東・森づくりセミナー」を開催します。

皆様の来場をお待ちしています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

- ・日時 2017年1月31日（火） 13:30～16:30 受付 12:30～
- ・会場 とかちプラザ 大集会室（帯広市西4条南13丁目1番地）

「道東地域における台風による森林被害把握と風倒に強い森づくり」

<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/news/seminar131.html>

////////////////////////////////////

林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。

■発行・編集

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場
〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山

■問い合わせ

企画調整部普及グループ
電子メール forestry-mmg@hro.or.jp

■記事の取り扱い

林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

////////////////////////////////////